

発行日: 2015年01月21日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 :NTXラッカーサンディングシーラー

推奨用途 :木部用塗料、その他

会社名 :大阪塗料工業株式会社

住所 :大阪府大阪市城東区古市3丁目4番20号

担当部署 :技術部

担当者(作成者) :森田 和宏

電話 :06-6934-3271

FAX :06-6934-3250

E-mail :morita@osaka-toryo.com

緊急連絡先電話番号 :06-6934-3271

製品番号(SDS NO) :14251-4

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体:区分 2

健康に対する有害性

急性毒性経皮:区分 5

急性毒性蒸気吸入:区分 3

急性毒性粉塵/ミスト吸入:区分 4

皮膚腐食性/刺激性:区分 3

眼に対する損傷性/眼刺激性:区分 2

皮膚感作性:区分 1

生殖細胞変異原性:区分 1B

生殖毒性:区分 1A

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 1

特定標的臓器毒性(単回暴露):区分 2

特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 1

特定標的臓器毒性(反復暴露):区分 2

環境に対する有害性

水生毒性-急性:区分 3



注意喚起語:危険

危険有害性情報

引火性の高い液体および蒸気

皮膚に接触すると有害のおそれ

蒸気を吸入すると有毒

粉塵/ミストを吸入すると有害

軽度の皮膚刺激

眼への刺激

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

遺伝子疾患のおそれ

生殖能または胎児への悪影響のおそれ

単回暴露により中枢神経/中枢神経系、腎臓、呼吸器/呼吸器系、全身毒性の障害

長期または反復暴露により呼吸器/呼吸器系の障害

長期または反復暴露により血管/血管系、肝臓、脾臓の障害のおそれ

水生生物に有害

注意書き

予防

使用前に取扱い説明書を入手する。

取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。ー禁煙。

容器を密閉する。

防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。

静電気対策を講ずる。

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

屋外または換気の良い場所でのみ使用する。

汚染された作業衣を作業場から出してはならない。

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

必要な個人用保護具を使用する。

対応

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗う。

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当を受ける。

水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。

保管

施錠して保管する。

換気の良いところで保管する。容器を密閉する。

換気の良い場所に保管する。低温に保つ。

廃棄

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

有害性

有機溶剤中毒を起こす恐れがある。

物理的及び化学的危険性

非常に燃えやすい液体である。蒸気が滞留すると爆発の恐れがある。

分類の名称(分類基準は日本方式)

引火性液体

急性毒性物質

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

化学的特定名:硝化綿塗料

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令 番号
フタル酸ジ-n-ブチル	2	84-74-2	1-354
ステアリン酸亜鉛	1 - 5	557-05-1	-
ニトロセルロース	5 - 10	9004-70-0	-
エタノール	0.1 - 1	64-17-5	-
イソプロピルアルコール	5 - 10	67-63-0	-
酢酸エチル	10 - 15	141-78-6	-
酢酸n-ブチル	45 - 50	123-86-4	-
エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル	0.1 - 1	111-76-2	-

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分

ニトロセルロース, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸n-ブチル

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

フタル酸ジ-n-ブチル, ステアリン酸亜鉛, ニトロセルロース, エタノール, イソプロピルアルコール, 酢酸エチル, 酢酸n-ブチル, エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル

4. 応急措置

一般的な措置

医師に連絡する。

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

まず、送り状記載の応急措置照会先に電話する。送り状がない場合や応答がない場合、関連機関のデータベース等に照会する。

吸入した場合:

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

皮膚に付着した場合:

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

多量の水と石鹸で洗う。

直ちに医師に連絡する。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当てを受ける。

眼に入った場合:

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。

眼の刺激が続く場合:医師の診断/手当てを受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は泡、粉末、炭酸ガスを使用する。

火災/注意: アルコールまたは極性溶媒を高濃度に含む混合物には耐アルコール泡がより効果的である。

火災/注意: これらの物質は引火点が極めて低い。消火の効果が不十分なときは散水する。

化学品から生ずる特定の危険有害性

蒸気が発火源まで達し、フラッシュバックするおそれがある。

消火作業用の特別な保護具と予防措置

防火服は限られた防護をするに過ぎない。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
換気不十分な場所で漏洩を処理するときは自給式呼吸保護具を着用する。
区域より退避させる。
適切な保護具を着用する。
こぼれた場所はすべりやすいため注意する。
着火源を取除くとともに換気を行う。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する予防措置

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

封じ込めおよび浄化方法と機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。

二次災害の防止策

蒸気濃度を低下させるために発泡抑制剤を用いてもよい。
低地から離れる。

7. 取扱いおよび保管上の注意

安全な取扱いのための予防措置

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。ー禁煙。
容器および受器を接地/結合する。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/工具を使用する。
静電気対策を講ずる。

注意事項

多くの液体は水より軽い。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱い説明書を入手する。
取扱う前にすべての安全注意を読み理解する。
屋外または換気の良い場所でのみ使用する。
保護手袋/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

施錠して保管する。
換気の良いところで保管する。容器を密閉する。
換気の良い場所に保管する。低温に保つ。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(イソプロピルアルコール)作業環境評価基準(2004) ≤ 200 ppm
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)作業環境評価基準(1995) ≤ 25 ppm
(酢酸エチル)作業環境評価基準(2004) ≤ 200 ppm
(酢酸n-ブチル)作業環境評価基準(2000) ≤ 150 ppm

許容濃度

(酢酸n-ブチル)日本産衛学会(1994) 100ppm; 475mg/m³
(酢酸エチル)日本産衛学会(1995) 200ppm; 720mg/m³
(イソプロピルアルコール)日本産衛学会(1987)(最大値) 400ppm; 980mg/m³

(フタル酸ジ-n-ブチル)日本産衛学会(1996) 5mg/m³
(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ACGIH (1996) TWA: 20ppm (眼および上気道刺激)
(酢酸n-ブチル)ACGIH (1995) TWA: 150ppm STEL: 200ppm (眼および上気道刺激)
(フタル酸ジ-n-ブチル)ACGIH (1990) TWA: 5mg/m³ (睾丸障害; 眼および上気道刺激)
(エタノール)ACGIH (2008) STEL: 1000ppm (上気道刺激)
(酢酸エチル)ACGIH (1979) TWA: 400ppm (上気道および眼刺激)
(イソプロピルアルコール)ACGIH (2001) TWA: 200ppm STEL: 400ppm (眼および上気道刺激; 中枢神経系損傷)

適切な工学的管理

適切な換気のある場所で取扱う。

個人用保護具などの個人保護措置

呼吸器用の保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

顔面保護具を着用する。

保護衣を着用する。

適切な衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。

汚染された作業衣を作業場から出してはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

取扱い後はよく手を洗う。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :液体

色 :淡黄白色

臭い :溶剤臭

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点 :77°C

引火点 :-4°C

爆発特性 :引火または爆発範囲の

下限 :0.5 vol %

上限 :12 vol %

比重/密度 :0.99 g/cm³

水に対する溶解性 :不溶

10. 安定性及び反応性

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(イソプロピルアルコール)マウス LD50 3600 mg/kg

(エタノール)ラット LD50 7060 mg/kg

(酢酸エチル)マウス LD50 4100 mg/kg

(酢酸n-ブチル)マウス LD50 7060 mg/kg
 (フタル酸ジ-n-ブチル)マウス LD50 5289 mg/kg
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ラット LD50 530 mg/kg
 経皮毒性成分データ
 (エタノール)ラビット LDL0 20g/kg
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ラビット LD50 490 mg/kg
 吸入毒性成分データ
 (イソプロピルアルコール)マウス LCL0 12800ppm/3H
 (エタノール)ラット LC50 20000ppm/10H
 (酢酸エチル)ラット LC50 1600 ppm / 8H
 (酢酸n-ブチル)ラット LC50 2000ppm/4H
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ラット LC50 450ppm/4H

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ラビット 500 mg open ; MILD
 (イソプロピルアルコール)ラビット 500 mg ; MILD
 (エタノール)ラビット 400 mg open ; MILD ラビット 500 mg/24H ; SEVERE
 (酢酸n-ブチル)ラビット 500 mg/24H ; MODERATE

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(イソプロピルアルコール)ラビット 10 mg ; MODERATE
 (エタノール)ラビット 100 mg/24H ; MODERATE ラビット 100 mg/4S rinse ; MODERATE
 (酢酸n-ブチル)ラビット 20 mg open ; SEVERE

がん原性

(エタノール)IARC-Gr.1 ; ヒトに対して発がん性がある。
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
 (イソプロピルアルコール)IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)ACGIH-A3(1996) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
 (エタノール)ACGIH-A3(2008) : 確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明
 (イソプロピルアルコール)ACGIH-A4(2001) : ヒト発がん性因子として分類できない
 (フタル酸ジ-n-ブチル)EPA-グループD ; ヒト発がん性に分類できない(1986)
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)EPA-CBD ; ヒト発がん性を決定できない(1996)

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性

水生生物に有害

水生毒性(成分データ)

(フタル酸ジ-n-ブチル)魚類(アメリカナマズ) LC50=0.46mg/L/96hr (EU-RAR, 2004)
 (エタノール)甲殻類(オオミジンコ) LC50=5463.9 mg/L/48hr (ECETOC TR91, 2003)
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)甲殻類(グラスシュリンプ) LC50=5.4 mg/L/96hr (CICAD10, 1998)
 (酢酸エチル)甲殻類(ミジンコ) EC50=164 mg/L/48hr (IUCLID, 2000)
 (酢酸n-ブチル)魚類(ブルーギル) LC50=100mg/L/96hr (環境省リスク評価第1巻,2002)
 (イソプロピルアルコール)魚類(ヒメダカ) LC50 > 100 mg/L/96hr (環境省生態影響試験, 1997)
 (ニトロセルロース)藻類(セレナストラム) EC50=579 mg/L/96hr (AQUIRE, 2003)

水溶解度

(フタル酸ジ-n-ブチル)0.001 g/100 ml (25 C) (ICSC, 2002)
 (エタノール)混和する (ICSC, 2000)

(エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)混和する (ICSC, 2003)
 (ステアリン酸亜鉛)溶けない (ICSC, 2000)
 (酢酸エチル)80 g/L (PHYSPROP Database, 2005)
 (酢酸n-ブチル)0.7 g/100 ml (20 C) (ICSC, 2003)
 (イソプロピルアルコール)混和する (ICSC, 1999)
 (ニトロセルロース)溶けない (ICSC, 2005)

残留性と分解性

(フタル酸ジ-n-ブチル)BODによる分解度:69%(既存化学物質安全性点検データ)
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)BODによる分解度:96%(既存化学物質安全性点検データ)
 (酢酸n-ブチル)BODによる分解度:98%(IUCLID, 2000)

生態蓄積性

(フタル酸ジ-n-ブチル)log Pow=4.72 (ICSC, 2002) ; BCF=176(Check & Review, Japan)
 (エタノール)log Pow=-0.32 (ICSC, 2000)
 (エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル)log Pow=0.83 (PHYSPROP Database, 2005)
 (ステアリン酸亜鉛)log Pow=1.2 (ICSC, 2000)
 (酢酸エチル)log Pow=0.73 (ICSC, 1997)
 (酢酸n-ブチル)log Pow=1.78 (PHYSPROP Database, 2005)
 (イソプロピルアルコール)log Pow=0.05 (ICSC, 1999)

13. 廃棄上の注意

廃棄残留物の記述とその安全な取扱いに関する情報

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。
 内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

廃棄物処理法

特別管理産業廃棄物: 燃焼しにくいものを除く

水質汚濁防止法

施行令第2条有害物質、排水基準を定める省令第1条: 排水 =< 100mg-Total N/L
 施行令第3条生活環境汚染項目、排水基準を定める省令第1条別表第2排水 =< 5mg-Zn/L

下水道法

施行令第9条の4水質基準物質: 水質基準 =< 5mg-Zn/L

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :1263

クラス :3

容器等級 :II

適切な積荷名称 :塗料

指針番号 :128

海洋汚染防止法

有害液体物質(X類): フタル酸ジ-n-ブチル

有害液体物質(Y類): エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル; 酢酸n-ブチル

有害液体物質(Z類): イソプロピルアルコール; エタノール; 酢酸エチル

危険物: 酢酸エチル

15. 適用法令

労働安全衛生法

有機則 第2種有機溶剤等: イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル

名称表示危険/有害物(令18条): イソプロピルアルコール; 酢酸エチル; 酢酸n-ブチル; ニトロセルロース

危険物・引火性の物 (-30 C <= 引火点 < 0 C)

名称通知危険/有害物(第57条の2、令第18条の2別表9):エタノール;エチレングリコールモノ-n-ブチルエーテル;酢酸エチル;酢酸n-ブチル;ステアリン酸亜鉛;ニトロセルロース;フタル酸ジ-n-ブチル;イソプロピルアルコール

労働基準法 疾病化学物質:酢酸n-ブチル;酢酸エチル

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:フタル酸ジ-n-ブチル

消防法

第4類 引火性液体第1石油類 危険等級 II

船舶安全法

引火性液体類

航空法

引火性液体

施行規則第194条輸送禁止

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 15th edit. UN

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2008 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

原材料/製品メーカーSDS

責任の限定について

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。